

「学校ぎらい」を「解消する」

「特殊学級に正しい理解を」

富士市は、45年度から2年間にわたり文部省から心身障害児教育の特別推進地区に指定されました。

さいきん、心身障害児ということばをよく聞きますが、このことばを正しく理解している人は意外に少ないようです。

心身障害児教育は、視覚障害児、聴覚障害児、精神薄弱児、肢体不自由児、言語障害児、病弱・身体虚弱者、情緒障害児を対象に、その子どもたちにそつた教

育を行なうことです。

「学校ぎらい」、「勉強ぎらい」ということばがあります。学校で一般の児童のなかで学習したり、運動したりするときに何かの障害があるために劣等感をもつためです。子どもには、それぞれに能力才能があります。それが何か一つの障害のために能力が伸ばせなければ、子どもにとってたいへん不幸です。

こうした子どもたちを障害別、能力別に教育するのが特殊学級です。適正な教育を行なうことによつて、その子の能力を開発し社会へ出て役立つ人間として復帰させるのが目的です。

しかし、特殊学級を正しく理解している人は少なく「特殊学級へ入れるのはみつともない」という親がほとんどです。これは「あの子は特殊学級に入っているんだつて……」という社会にも責任がありますが、そうした子をもつ親の無理解によることが多いのです。

こういう例があります。「中学校1年のときに文はほとんどつくれなかつたので、入級させたら3年になつたときには自分の気持ちを毎日日記を書くようになった。」「普通学級のときはほとんど学校へ行かなかつたが、特殊学級へ入つたら友だちもでき、休まずに通学するようになった。」

心身障害児対策は、早期発見早期教育が必要です。ところが、現実には親が気づかなかつたり、世間態を気にしたりしてなかなか実行されていません。

不幸にして何らかの障害をもつた子どもたちを1日も早く社会に復帰できるように、みんなが心身障害児教育に対して理解を深めていただきたいものです。

46年度には吉小など3校に新設

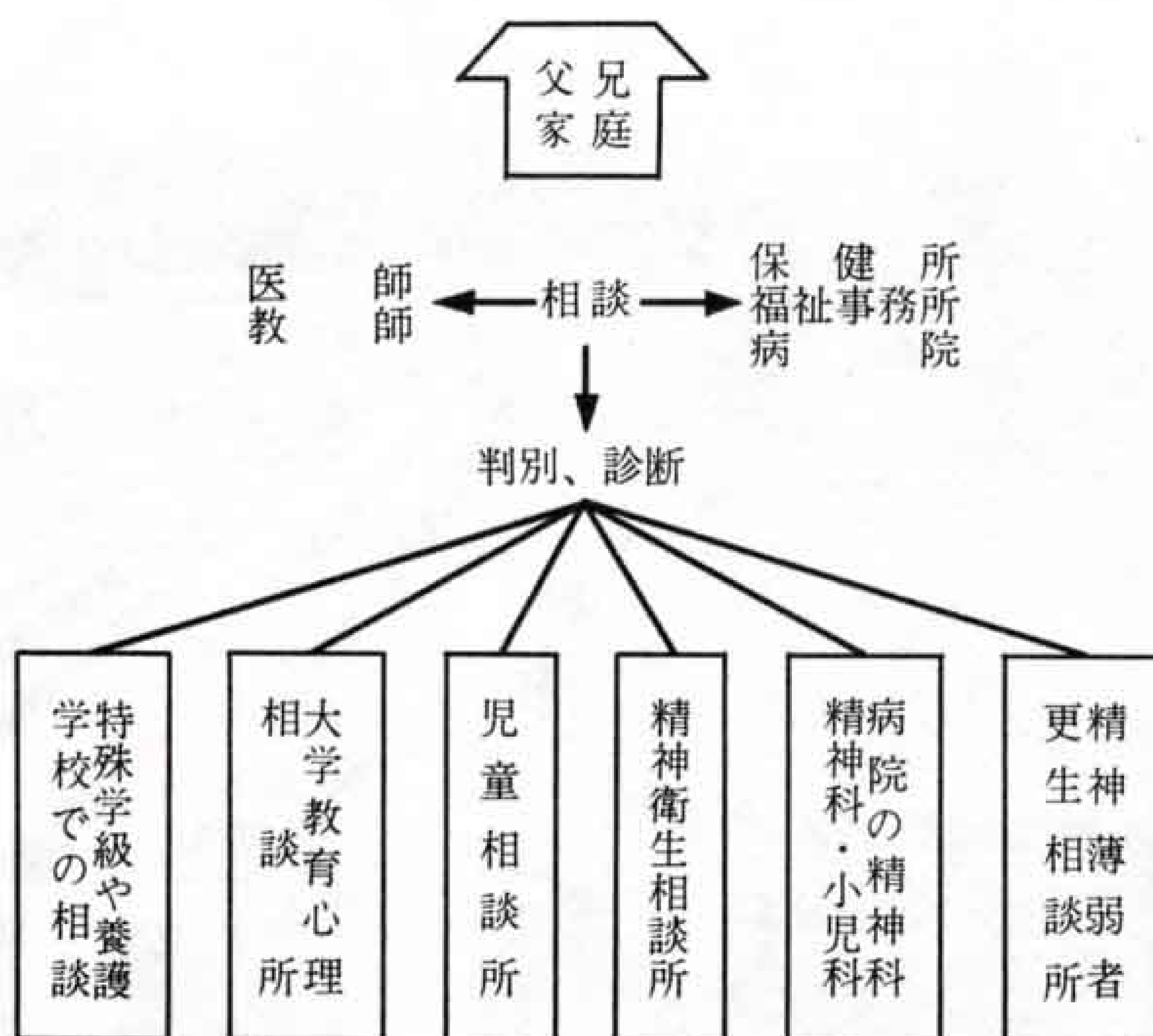
現在、特殊学級を設けてある小・中学校は次のところです。小学校が富士一小、富士二小、田子浦小、岩松小、鷹岡小、原田小、伝法小に精神薄弱児学級があります。中学校には富士中、富士南中、岩松中、鷹岡中、吉原一中、吉原三中にあります。このほか吉原小学校に言語障害児学級があります。

施設としては精薄児のための市立ふじやま学園、情緒障害児のための県立吉原林間学園があります。

なお、46年度から吉原小、今泉小、元吉原小にも特殊学級を新設します。

特殊学級のことについて相談ごとのある人は各小、中学校または教育委員会学校教育課へ。ふじやま学園、吉原林間学園など施設のことは福祉事務所へご相談ください。

相談の手続き



当直医院

休日当直医院は、富士医師会が急病患者のために定めたものです。急病などでお困まりのときにご利用ください

■ 4月4日

内科 紺野医院(和田2 52-0179)
渡辺医院(鈴川3 34-0116)
奥村医院(国久 61-1232)
外科 米山病院(吉原4 52-3060)
原 医院(松岡 61-0988)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■ 4月11日

内科 飯泉医院(田宿 52-0690)
渡辺医院(吉原5 52-0340)
岳南医院(上横割 61-2360)
外科 吉田医院(石坂 51-2515)
宮下医院(平垣 61-0376)
産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

■ 4月18日

内科 金子医院(宮川 52-0265)
須津医院(中里3 34-0157)
中央病院(本市場 61-8800)
外科 井上医院(富士見町 52-0988)
川村医院(富士中島 61-4050)
産婦人科 山下医院(西国窪 52-0611)

■ 4月25日

内科 遠藤医院(緑町 52-6460)
清水医院(比奈 34-0512)
望月医院(厚原 71-3392)
外科 米山医院(和田2 52-0275)
田辺医院(本市場 61-8410)
産婦人科 米山医院(和田2 52-1399)

■ 4月29日

内科 杉浦医院(中央町1 52-0078)
高木医院(柏原 33-0137)
宮下医院(平垣 61-0376)
外科 快明堂医院(中央町1 51-0301)
神谷医院(川成島 61-5900)
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)